

第1回 丹後教科用図書採択地区協議会 議事概要

令和5年4月19日（水）10:30～11:00
京都府宮津総合庁舎別棟2階 講堂

1 開会

2 令和5年度役員（案）について

- ・丹後教科用図書採択地区協議会申合せ事項に基づき、令和5年度の役員を決定
 - 〈会長〉：京丹後市教育委員会 松本 明彦 教育長
 - 〈副会長〉：伊根町教育委員会 岩佐 好正 教育長
 - 〈監査委員〉：与謝野町教育委員会 長島 雅彦 教育長
 - 〈監査委員〉：宮津市教育委員会 山本 雅弘 教育長

3 会長あいさつ（京丹後市 松本教育長）

4 令和5年度度運営報告並びに収支決算書（案）及び会計監査報告について

- ・運営報告並びに収支決算書（案）及び会計監査報告について、事務局・監査委員が報告
- ・承認

5 令和5年度の日程（案）並びに予算（案）について

- ・採択に係る日程（案）並びに予算（案）について、事務局が説明
- ・承認

6 調査員の委嘱（案）について

- ・調査員の委嘱（案）について、事務局が説明
- ・承認

7 丹後教科用図書採択地区協議会に係る継続協議事項について

- ・引き続き協議する

8 閉会

第2回 丹後教科用図書採択地区協議会 議事概要

令和5年7月25日(火) 13:30~17:00

京都府宮津総合庁舎本館1階 第2・3会議室

1 開会(地区協議会会長あいさつ 京丹後市松本教育長)

2 令和6年度使用小学校教科用図書に関する研究報告

【国語】

① 代表調査員の報告

- ・調査員5名 調査研究3回実施
- ・報告内容 小学校教科用図書調査研究報告書(P1~2)のとおり

② 代表調査員への質疑

- 国語**・委員 タブレットを一人一人持っているので、QRコードを活用して頂いていると思うが、国語という教科の中で、そういったものをどんどん活用していくことが必要なのか教えていただきたい。
- ・代表調査員 国語は語彙力、言葉がもちろん大事で、言葉の力というのが、どの出版社も丁寧に扱われているなど。今後は主体的に、または対話的な考えを深めるというところというならば、対話的にできるような説明文の内容だったり、未来を見つめるならば、子どもたちが対話して、自分たちで考えを議論するような内容も、少し網羅されてきつつあるかなというような話もしていた。QRコードについては、どの出版社も工夫されています。
- ・委員 どの教科も今求められる部分としては情報の取り扱い、情報活用能力というところも、非常に重要な側面だと思うが、この中では光村の中に、情報の整理にとって意図的な運用が大事であることを伝えて、その学びを活用する構成となっている。この辺が特徴的なことではないかと思うが、そのあたりでの協議等があったか。
- ・代表調査員 情報量については、どの出版社も網羅されており、内容的にも適切かなというところでは。
- ・委員 特に国語の場合は、作品の質というかグレードというか、そういったものが気になるんですけど、例えばこの3社の中で、この会社は読み物教材的なものに特化しているとか、この教科書は、説明文とか、そういうことに特化しているとか、何か特徴的なものがあれば教えていただきたい。合わせて、5年生で浦島の話が出てきたり、丹後に関連するような作品が入っている業者が一部あったが、何か特徴的なことがあったら教えていただきたい。
- ・代表調査員 東書については、情報量または新聞の記事の内容も豊富でしたし、未来志向的な部分のご意見がありました。教育出版については、その辺りのバランスが良いです。光村については、今現在、光村の教科書を使っておりますので、今までの名文といえますか物語文が残っています。地域教材の絡みについては、総合だったり社会とのリンクということについては、地域教材が網羅されているならば、今後、自分たちが調べてみようかなと、意欲に繋がるような教材だと思います。
- ・委員 今使われている光村出版を上回るような教科書が、こういう項目ではこういうところが素晴らしいなといったような具体的なことが出ていましたら、聞かせていただきたい。
- ・代表調査員 未来、Well-being というところを含みながら、その比較で、光村は不易のところ

書写・委員

が重要視されていまして、他の教科書については、主体的、または対話的、深い学びに迫った対話を大事にするような、その違いは3社とも素晴らしいと思います。書写についてお聞きしたいのですが、QRコードで左利きのものが用意されている出版社もあると思いますが、光村の方には左利きのことが書いてないですが、その辺りどうだったのか。

・代表調査員 光村についてはご意見がなかったのですが、左利きがなかったのかなっていうぐらいの認識でした。

・委員 これからの教科書の学びとしては主体的な、対話的な学びがどうしても不可欠だということだと思いますが、その主体的具体的な学びの中心は、やはり国語になるかと思う。そうした視点で、ここに書いてある内容で言うと、東書の中にその児童の主体的な学びや個別最適な学びを支えることに繋がっているような、QRコンテンツがあるという書き方がされていますが、その主体的な学びや対応的な学び、コミュニケーション能力を高めていくという視点では、3社ともあまり違いがなかったのか。

・代表調査員 各社3社とも、大きく3点に絞りながら最終、話し合いをまとめました。東書の1点目、情報活用料を活かし、内容が際立って、今後、子どもたちが将来に向けて自ら切り開いていく礎となる学びが散りばめられていました。2点目、リポートの内容も根拠に基づきながら、論理的に対話する流れが際立っていました。3点目、6年間で何度か学んでいくことは、端的に要約していく、または自分の感想を述べることに繋がる、そんな内容も網羅されていました。次世代未来志向の場面がたくさん散りばめてあった出版社かなと。教育出版の1点目、付録の読み物が、今後、多読に繋がる内容となっているのが際立っていた。2点目については、地域自慢など総合とリンクしながら、故郷を大切にする視点が大変魅力的でありました。3点目、読み物教材のあと、各単元を必ず設けていました。光村の1点目、言葉の力や物語に親しむ点は、愛着がある。2点目、生活と密着している言葉の学習、言語事項も大変魅力的で、視覚的色合いもだが、言葉の力に特化されている部分もあるというところ。3点目、作家に視点を当てた、多読できるような構成で、読書に親しむきっかけ、主体的に子どもたちが違う本を手にとろうというような特徴だった。

・委員 他社の教科書が変わることによって、現場の教師の方々はすぐに対応できるものなのか。

・代表調査員 教師として子どもたちを目の前にし、時間はかかるかもしれませんが、最初は少し学びながら、どの出版社でも対応できていると思っています。

【家庭科】

①代表調査員の報告

- ・調査員5名 調査研究2回実施
- ・報告内容 小学校教科用図書調査研究報告書(P13)のとおり

②代表調査員への質疑

・委員 現場の先生方が、情報量が多い方が、デジタルコンテンツの方も発展的に挑戦しようかなというイメージが何となく見えたのですが、その辺は感じ取られたかということと、変わっていくことによって、現場の先生の戸惑いが出たりすることがあるのかなというのが気になったが。

・代表調査員 デジタルコンテンツについては、各担任において使う使わないがありますが、どちらの教科書も、自分で学習するために使うデジタルコンテンツというイメージが強いと思います。

- ・委員 指導の中で、デジタルコンテンツをどんどん活用するというよりも、自主学習の中でデジタルコンテンツを使うことによって、学びを各自の中で広げていくという感覚でとらえたらいいということか。
- ・代表調査員 はいそうです。
- ・委員 家庭科というと、SDGsや環境教育とかだけでなく、ジェンダーフリーなどの関係も出てくるが、この教科書の中で特に男女風評的な中身とか、ジェンダーフリーとか、感じたことがあればお聞かせいただきたい。
- ・代表調査員 男性がこうしなければならないとか、女性だからというような印象はどちらも受けませんでした。中に出てくるキャラクターの名前には、必ず「さん」付けで統一がしてあることと、男の子と女の子という性別が分かりにくかったり、肌の色が様々であったり、車椅子に乗っている人が出ていたり、色々な方が出ているという印象でした。

【音楽】

① 代表調査員の報告

- ・調査員 5名 調査研究 3回実施
- ・報告内容 小学校教科用図書調査研究報告書(P 11)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 学習指導要領の目標達成をしていく上で、この両教科書の違いを教えてください。
- ・代表調査員 学び方が詳しく丁寧に書いてある、学び方一つ一つアイコンに示されてるものが教育芸術社です。学び方のポイントが書いてあるものが教育出版社です。
- ・委員 音楽というのは実技や色んなことで楽しく学んでいくものだと思うのですが、楽しく指導が出来たり、子どもたちの今の時代に合った教材が入っているなどか感じるようなことがあれば教えてください。
- ・代表調査員 どちらの教科書についても、イラストやキャラクターの設定や、振り返りの時の代行の設定など、そういう部分で楽しさや、具体性が感じられるものであったと思います。
- ・委員 教育芸術が、道徳教育や人権教育に関連した歌詞の教材がされ、教育出版は、学校行事等で活用できるよう全学年に同一曲を掲載している。具体的にどういった曲が載っているのか。
- ・代表調査員 教育出版社につきましては、散歩の合唱が1年生から6年生まで同一で、アレンジなどが違った形で載っています。両方の教科書ともに、例えば日本のふるさとの歌の中では、ふるさを愛する項目や道徳項目で、触れられております。教育芸術社については、5年生のビリーブという教材がありますが、一人一人の違いだとか、譲り合うなどそういった作曲者からのメッセージが載っているというところであげさせていただきました。
- ・委員 音楽においては知識技能と思考判断表現は分けて考えるべきではなく、一体的にとらえて学んでいかなければならないと思うのですが、論議はあったのか。
- ・代表調査員 教育技術社は音楽づくりも含めて題材構成の中に入っているものが多いです。教育出版社につきましては、歌唱器楽と鑑賞というのが1つになっていて、音楽づくりはその隣のページに載っているというところ、題材として含まれるのか含まれないのかというところは議論にはなったところです。
- ・委員 QRコードが教芸の方がほぼ全ページに載っていますが、実際にQRコードから聞くことができる情報量というのはどうなのでしょう。

- ・代表調査員 各学年でいうと、教育芸術社がすべての教材に付いていて、いろんな単旋律だったり、調べる手がかりはありました。

【保健】

①代表調査員の報告

- ・調査員 5名 調査研究 2回実施
- ・報告内容 小学校教科用図書調査研究報告書(P 14～17)のとおり

②代表調査員への質疑

- ・委員 心の性自認ということに関して、発達にまだ差がある小学生に対して何らかの授業をしていく中で、教科書会社によって違いがあるのか教えていただきたい。
- ・代表調査員 文教社はSDGsに係るジェンダー平等について触れられていました。
- ・委員 大修館については保健と体育の一体的なイメージがあるというような表現があったと思いますが、具体的に感じられる部分があれば教えていただきたい。体ほぐしというような辺りか。
- ・代表調査員 そうです。体育の体ほぐしとの関係を一層意識された構成になっていると思います。これは一例ですが、他の体育の部分も、関連があるというふうに思っています。
- ・委員 文教社はイラストが多くて分かりやすい。光文書院は、一般的な標準。学研は、グラフ化、資料が目につきやすく、書く箇所もあったりして、やり取りがしやすい。東書は、ベテランから若手まで全ての教師が上手く活用できる部分だろうというような表現されたと思うんですけど、あと2社は、中身がある意味、子どもたちには分かりやすいが、量的に少ないという捉え方をさせていただいたらいいか。
- ・代表調査員 単元の中で、観点に応じた表記が端的に、量が少ない多いというわけではなくて、3観点が適切に学べるような配列を工夫されている。指導と評価は一体ですので、教えたことを評価する上で、観点に対する記述がきちんとわかりやすく書いているという点から、若い先生たちにも使いやすいといえますか。
- ・委員 流れがしっかりと構成されているという意味ですね。他の教科でもQRのことが話題になっていますが、実際に社会生活の中でいろんな経験をされている方のインタビュー的な動画があるとか、その量の多い少ない等、特徴が出ていたか。
- ・代表調査員 東書、学研、大日本あたりが工夫されていたと思います。
- ・委員 主体的、対話的な学習を進めていく工夫が各社それぞれされているのですが、特にそういう配慮を感じられるような出版社はどこか。
- ・代表調査員 東京書籍の、他の友達などの意見を聞いて自分がアウトプットすることで学びが深まるとか、聞いたことを友達やグループに伝えるところの工夫の解決によって、学びがより深まるといったところですか。
- ・委員 実際に保健体育の授業ではノートみたいなものを使われるのか、教科書だけで終わるようなものなのか。記入欄の違い等はあるのか。
- ・代表調査員 独自のフリーのノートを使うとか、教科書会社が作ったノートを使われるかは、学校や担任の裁量だと思います。教科書と一緒にワークシートのなノートもそれぞれの会社でありましたけれども、それぞれ教科書に合ったもの、自分や他者の意見も書きやすいような工夫をされていたので、甲乙つけがたい部分なのかなと思います。

【社会・地図】

① 代表調査員の報告

- ・調査員 5名 調査研究 3回実施
- ・報告内容 小学校教科用図書調査研究報告書(P 3～4)のとおり

②代表調査員への質疑

- 社会**・委員 東書は、歴史と政治国際の2冊構成になっていますが、中学校の歴史的分野、公民的分野というような位置付けの分冊になっているということでしょうか。
- ・代表調査員 子どもたちにとっても明確に、今は歴史だ、法律的な内容だとかいうことが伝わりやすいのではないかとということと、持ち運びの部分もあるかなというふうには思います。
- ・委員 人権問題とか、領土問題とか、その辺りの記述の部分で、各社特徴的なことがあれば教えていただきたい。
- ・代表調査員 取り立てて表記に差異はありませんでした。
- ・委員 今使用している教科書は、最初に政治、そして国際をやった後に歴史をするという流れになっているので、今回3社とも同じ配置になっているのか。その辺りで意見は出ていたか。
- ・代表調査員 特にご意見はなかったのですが、教育出版と日文は歴史が先だったかなというのもありましたので、その辺については、特徴的には分かれるかなと思っています。
- ・委員 今求められる能力からすると、知識中心の授業から、主体的な学びに移行していくのがなかなか難しい教科書ではないかなというふうに思いますが、教科書の作りの中で何か特徴はなかったか。
- ・代表調査員 若い先生方から色んな年齢の先生方がおられるっていうことを考えて、まとめが充実している方が、先生方は使い易いのではないかなというご意見にまとまりました。スタートが充実していても、ゴールが明確でなければ、付けるべき力も付きにくい、主体的にこうしようという担任の思いも出づらくなるかなというところで、最終的には、まとめが明確な方が、子どもたちも先生方も使い易いのではないかなという意見が多かったかなと思っています。東書はまとめを充実させていたのではないかなと思います。
- ・委員 3社とも、まとめるまでやっているが、そこから生かすと繋げる、さらにそこから主体的に自分が学ぶという過程が、東京書籍と教育出版はあるということか。
- ・代表調査員 生かすと繋げるところはどこの教科書も入っています。日文もまとめるで終わっていますが、繋げるというページ、次に生かすということは、されているというふうに思います。
- 地図**・委員 地図について、帝国は、地図学習の導入にあたる3年生の部分について、30ページを使って詳しく配慮されている。それに伴い、東書と比べて全体の情報量が少なくなっていたりしていないのか。QRコード等を使ったり、色んなことで教える情報は少なくなったりしていないのか。
- ・代表調査員 東書と帝国を比べると、東書の方がシンプルで薄いです。帝国の方がページ数も多いのが違いになると思いますが、その分内容がということではないというふうに思っております。
- ・委員 地図帳を開いたときに、世界地図がありますが、ある出版社の地図帳は世界地図に国名がほとんど入っている。ある出版社の方には代表的な国しか入っていない。日本も、県庁所在地が入っている地図帳と入っていない地図帳がある。小学生の発達段階において、その辺りをどう考えるのか。
- ・代表調査員 東書は薄い分1ページの情報量は当然沢山になっていて、それが3年生から6年生まで読みやすいかどうかというと、3年生にとっては少し細か過ぎるかもしれません。帝国は、例えば近畿地方、それから内々地方、全国もありますが、少し近畿地方よりも大きいバージョンというのもありまして、その近隣の地方との関係性も少し大きく捉えることができたりということと、見やすさだったり使いやすさだった

りというところは、3年生から6年生までも、取捨選択がしやすくなる可能性があるかなというようなご意見をいただいていた。情報量が1ページにたくさんある方が良いのか、それとも取捨選択できる方が良いのか、そういった特徴があるのではないかなというふうに見ていました。

- ・委員 教科書に加えて、何のために地図を使うのかということを考えたときに、資料集的な冊子として地図を採用する方がいいのか、地図本来の学習ということで、地図を採用するのがいいのか。社会という教科の本質から考えて、どちらに価値があると思われるのか。
- ・代表調査員 地図帳なので、いろんな地図があるべきだと思いますし、情報が多い方が、教える方も取捨選択はできるのではないかなと思ったりもします。東書では、地図の3年生のところ、丁寧に示されているところを考えると、地図も資料も充実しているものが良いものではないかなというふうには思っております。

【生活】

① 代表調査員の報告

- ・調査員 5名 調査研究 3回実施
- ・報告内容 小学校教科用図書調査研究報告書(P 9～10)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 デジタルコンテンツ、QRコードをやることによって、活用しやすいものなのか。他の教科ではあくまで自主学習のためにデジタルコンテンツということで、教科書以外のところで活用するという程度の使い方みたいなどころがあって、実際どうなのかということと、現在、啓林館が採用されているが、啓林館もデジタルコンテンツも含めて進化しているものなのか教えていただきたい。
- ・代表調査員 低学年でデジタルコンテンツというのは、視覚的教材が入ってきて嬉しい部分と、至るところでずっと使用していたら、一斉で使いたい時にこちらを向かせきれないことがあったりします。それでも子どもの個別最適な学びを保障していこうと思うと、調べたい時にデジタルコンテンツが豊富にある方が、子どもの学びを広げてあげることになると思いますので、そのバランスがとても大事だという意見が出ていました。また、啓林館についてはこの4年間で大変変化していると思います。教科書のサイズも低学年向けのサイズに変えていたり、コンテンツの動画や、QRコードも、バランスを良くして配置していたり、今よりも大変進化しているというふうに思っておりました。
- ・委員 生活科のポイントとしては、保幼小の円滑な接続という視点も、生活科の一年生の教科書には大変重要で、その辺は少し違いがあるものあるかなと思いますが、探究的な学びを支援していくという点については、特徴的な教科書会社はあったか。
- ・代表調査員 特に探求的なところで思考を深めていくというところで、意識されているのが強いなど感じたのは、東書、教育出版、啓林館でした。
- ・委員 スタートカリキュラムですが、啓林館がすごく丁寧に、そして子どもたちの活動のしやすさという辺りが掲載されていたかなと思いますが、スタートカリキュラムが独立して分かっている方がいいのか意見等は出ていたか。
- ・代表調査員 分かれていることが良いというような意見はなかったです。

【委員打ち合わせ】

- ・会長 全体を通じまして、何かお気づきの点や、次回に向けて何か気を付けておく点等がございましたらご意見をお願いしたい。

- ・委員 特に社会科の教科書選定で問題になるのは、領土問題の記述であるとか、人権問題。その辺がやはり色々な立場の方たちが少し気にしておられて、それに対して色々な意見をいただいたり、答えないケースが出てくるので、その辺が少し調査をしていただいた方が良いんじゃないかなと思いました。今回でも教育出版に尖閣で中国との関係が出てくるんですよ。あの辺のところとか、知っておく必要があると思うので、その辺は来年度以降というか、次の課題かなと感じました。
- ・会長 ご意見ありがとうございます。次回協議会は、7月27日に同じ13時30分から、宮津総合庁舎別館2階の講堂で実施する予定としておりますので、よろしく願いいたします。

第3回 丹後教科用図書採択地区協議会 議事概要

令和5年7月27日(木) 13:30~17:00
京都府宮津総合庁舎別棟2階 講堂

1 開会(地区協議会会長あいさつ 京丹後市松本教育長)

2 令和6年度使用小学校教科用図書に関する研究報告

【算数】

① 代表調査員の報告

- ・調査員5名 調査研究3回実施
- ・報告内容 小学校教科用図書調査研究報告書(P5~6)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 特に身近に算数を感じられる出版社がありましたら教えていただきたい。
- ・代表調査員 それぞれに生活との関連を大切にされていたり、有名人がコラムで、算数と自分との繋がりなどを紹介されたりしていて、学習だけではなくて自分に近いものだと感じられる工夫をされていると思います。
- ・委員 教科書会社によっては6年生に別冊を設けたりしていると思いますが、それについてご意見や評価があったのか。各社、端末に厚紙や紙面を使う付録のようなものが付いていると思いますが、実感としてそれは有効に使われているか。
- ・代表調査員 スタートブックはどこの会社にもありました。後ろについている教材については、最後まで残ってしまうかどうかというのは、担任の力量、意識次第かと思います。上手に活用すれば、教師が別のものを用意しなくても、その場で皆が揃ったもので学習がスタートできるというところでは、有効に活用できるのではないかと思います。
- ・委員 中学の数学への移行に向けて、工夫が強く感じられる教科書があれば教えていただきたい。プログラミングについて、何か話題になったところはあるのか。
- ・代表調査員 中学校への接続というところは、どの会社も意識はされていて、6年生からというところと、5、6年生からとで印を付けていたり、別冊を付けていたり、それぞれだと思います。プログラミングについては、1年生からスクラッチのようなものも紹介されていたり、一マス進むカードや右を向くカード等を並べることで、ゴールまで駒を進めるようなゲーム的なものから入っていくものなど、様々ありました。5年生ぐらいになるとフローチャートを扱っている教科書もありました。
- ・委員 今啓林館の教科書を使っていて、小数が先よりも分数が先の方がやりやすいという実態が今あるのか。
- ・代表調査員 子どもたちにとってどちらの方が自然に入るのかということだと思いますが、どちらとも言えないのかなと思います。
- ・委員 6つの教科書会社を比較して、今使っている啓林館を上回るような教科書はあったか。
- ・代表調査員 6社比べてみるとそれぞれ工夫がされていて、授業の中で使いやすいということを大事にされている教科書や、開いた時にまとめまでひとつにまとまっている工夫がされているところなどがありました。

【理科】

① 代表調査員の報告

- ・ 調査員 5 名 調査研究 3 回実施
- ・ 報告内容 小学校教科用図書調査研究報告書(P 7～8)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・ 委員 理科は生活科から繋がっていると思うので、そういう視点で見て特徴的な出版社等があれば教えていただきたい。また、STEAM 教育が重視されていると思うんですけど、そういったところを意識しているなど感じられるような教科書や特徴があれば教えていただきたい。
- ・ 代表調査員 啓林館の教科書においては、3 年生の理科のスタートを意識した表記がされていました。また、STEAM 教育との関連ということで、東京書籍、啓林館の中には STEAM という言葉が書いてあります。その中で、その運転開発の事ですか、事例はそれぞれですが、例にも繋がる表記がされていました。
- ・ 委員 理科は気づきの時が学ぶボリュームが大きいかと思うのですが、教科書の構成についてご意見があったのか。また、外に行ったり、理科の実験をしたりする時は、教科書の大きさが小さいの方が良いのか教えていただきたい。
- ・ 代表調査員 見開きの中で問題として示す会社がありましたけども、結果は次のページに書いてあるというような工夫がされている会社や、見開きの中に結果まで書いてある会社もあります。教科書の大きさについては、大きいから駄目ということではなく、A4 版にして、挿し絵や資料の写真をたくさん盛り込みたいとか、大きく見せたいという意図が感じられますし、小さいから子どもにとってはコンパクトで持ち運びやすいということもあるでしょうし、それぞれに良いところはあります。
- ・ 委員 生活と密着した実験であるとか、子どもたちが興味を持ちそうな実験とか、そういったものが多いなど感じられる出版社があれば教えていただきたい。
- ・ 代表調査員 子どもが興味を持ちそうなものづくりですか、身近な生活との繋がりの資料につきましても、どの会社についてもその辺りは良く分かっておられると思います。
- ・ 委員 啓林館のワクビットという C B T、コンピューターベースのテストを活用して、読解力や情報活用能力を育む工夫がされているというのは、全国でやっているメグビットのようなシステムではなくて、啓林館が独自でコンピューターベースのテストをして、啓林館の算数などと連携して共通した力が見出せるようにしているものなのか。
- ・ 代表調査員 おそらく啓林館の中で、システムをオンラインで学習問題で繋ぐようなシステムで、C B T システムを繋いで、問題を抽出できるようなシステムになっているのだろうなと思います。
- ・ 委員 啓林館独自のものということですか。
- ・ 代表調査員 ワクビットという名前は啓林館独自だと思います。
- ・ 委員 実験ごとの見方、考え方を、明確にしようとして工夫しているのは教育出版で、書かせたり、色々カードで積み上げていったりするのが他の会社という理解で良いですか。
- ・ 代表調査員 はいそうです。
- ・ 委員 理科は実験が一つ大きな要素になってくると思いますが、先生の中でも理科が得意な方がそう多くおられるわけではないと思います。そういった中で、特に実験についての安全面や、新しい結果が出るような配慮などが記載されているなどと思われる教科書があれば教えていただきたい。
- ・ 代表調査員 実験の表記につきましては、見開きでというような違いはありますけれども、どこ

の会社も実験の流れについては同じような表記がしてあります。実験器具の取り扱いの危険回避という部分について、啓林館は実験ごとに書いてあり、他の会社は巻末にまとめて書いてあります。

- ・委員 実験で、こういうことにも気をつけようといった要素も書いてあるのか。
- ・代表調査員 すべての会社を書いてあります。
- ・委員 巻末にあるよりは、それぞれにある方が良いのか。
- ・代表調査員 それは指導者の使い方かなと思います。
- ・委員 本来の趣旨としては、理数を生活の中にどう生かして、活用しながら課題や問題解決をしていくかという視点が STEAM だと思いますが、その辺りで特徴的なことはあるか。
- ・代表調査員 STEAM という言葉は書いてありますが、STEAM 教育の説明ではなくて、生活との繋がりの部分で、写真や例示を出しながら書いてあるというものです。

【図画工作】

① 代表調査員の報告

- ・調査員 5名 調査研究 3回実施
- ・報告内容 小学校教科用図書調査研究報告書(P 1 2)のとおり

②代表調査員への質疑

- ・委員 開隆堂は、重点的に育成したい能力とかを強調して示しているというふうにおっしゃいました。日文に関しては、評価基準の観点につなげることができる、評価の一体化が図りやすいというふうに、評価を挙げている。先生方においては評価というのは大切なことだと思いますが、それは結果の話で、子どもたちが学ぶという観点になると、もう 1 社の考えが重要に思うのですが。
- ・代表調査員 例えば開隆堂の方は、学習の目当てというところに、三つの観点で書いてあります。そして最後に一つ、今回の授業ではここがメインだ、というところは赤い文字で書いてあります。他のところの工程を見ても、必ず三つの観点で、ここって言うところを赤い文字で書いてあるということを強調ということを書かせてもらいました。一方、日文の方につきましては、ここにも同じように目当ては必ず掲載されています。同じように 3 観点ありますが、3 観点の中で、必ず 5 つの項目に分けて目当ての方が書いてありました。振り返りについて、日文の方は、最後の学びに向かう人間性のところなんですけども、やりました、必ずこの学びに向かう人間性のところの振り返りになっている。でも開隆堂の方は、しました、そうするとここでやったことの振り返りとして、振り替りシートを使っているという違いはありました。
- ・委員 学びに向かう人間性というのは、評価の時には主体的に学習する態度という評価の仕方なので、そういう評価をする上でしやすいという部分があるのか。
- ・代表調査員 そうです。一番難しいところではあるので、学びに向かう人間性を評価するのは、どの教科でも大変難しいです。日文の方につきましては、必ず全ての学びに向かう人間性の方の振り返りに繋げているというところですか。
- ・委員 それは評価基準もよく意識した表記の仕方になっているということか。
- ・代表調査員 はいそうです。
- ・委員 STEAM 教育ということで今、理数の力を、理数だけでなくアートの力も合わせて課題解決をしていきたいと思いますという力が求められていて、次の学習指導要領では、そういうものが小中にも取り入れられるのではないかとされているところですが、デザイン的な部分で、少し特徴的だったところがあればお聞かせいただきたい。
- ・代表調査員 開隆堂は見開きの共有されたところに、一言コメントが載っていたりします。また、

高学年になるにつれて、色んな活躍されている方たちと、交流がありながら作品を作っているというところがあります。日文はICTの中に映像も入れながら表現されていて、それを使ってキャリア教育ができるかなと思います。

- ・委員 図画工作なので、芸術、文化を学ぶということだと思いますが、どちらの教科書も何か特徴的なことがあるのか。
- ・代表調査員 開隆堂は、子どもが生き生きするような写真がいっぱい載っています。作ってみようかなというような思いにさせられますし、表情もとても豊かだし、大変興味をそえられる作りになっているなどと思います。日文は、色々な作品が沢山載っているなどと思います。子どもたちも、作品の種類によっては、こう作ればいいのかというイメージは持ちやすいかなと思います。
- ・委員 子どもを見ていて、ぱっと見た時に作品がいっぱいあって、興味を持つ子どもの方が多いのか、イメージを持ちやすいものの方が多いのか、実感としてどちらが多いか。
- ・代表調査員 教科書の使い方によるかなと思います。教科書をこんな風に教師が使いたいと思う使い方をすれば、どちらも効果的には使えるのではないかなと思います。
- ・委員 図画工作を教える上で、QRコードを用いることはあるか。
- ・代表調査員 QRコードの中に、教科書に載っていない作品も載っています。色んな作品に触れさせたいと思ったらQRコード読み取って、そこから作品を見る。作品も、QRコードでは360度回転して見られるような形で載っています。そういう面では立体的に作品をとらえやすいかなと思うので良いと思います。
- ・委員 発想力で言うと、例示がされ過ぎていて、近いものを選ぶということが力なのか、それとも例示があまりされていなくて、自分が他の子と違った発想でどうデザインをしていくのかということでは、違いがありそうな感じがする。
- ・代表調査員 QRコードの中にも、シンキングツールがあったりして、自分の発想をどういうふうに持っていこうかなというようなことがあったり、振り返りの仕方についても、両社とも色々と工夫がされているかなと思います。

【外国語】

① 代表調査員の報告

- ・調査員5名 調査研究3回実施
- ・報告内容 小学校教科用図書調査研究報告書(P18～19)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 小学校レベルから中学校レベルに変わるので、そこを意識した部分があるというのは一定必要かと思う。府の教育委員会が一昨年度、小学校から高校3年生まで10年間を見越したCAN-DOリストを作成されて、それを使っていきましょうということで進めておられる。そういう観点から、今回の調査研究の中で動きもあったのか。
- ・代表調査員 中学校への繋がりについては、東京書籍のところで明記されていました。CAN-DOリストにつきましては、それぞれの教科書にも明記されていますが、特に開隆堂は、教科書の今のページを学んだら、巻末のCAN-DOリストのところにチェックができるという辺りで明記がされています。
- ・委員 ALTの活用を意識したつくりになっている教科書はあるのか。
- ・代表調査員 QRコードが多くの教科書にあるかなと思いますので、そちらの中で、海外の方とALTの繋がりというのはできるのかなというふうに感じております。
- ・委員 本物のALTに触れるのか、数多くデジタルで触れるのかということでの違いは出ていたか。

- ・代表調査員 アニメーションがたくさん出ているものと、海外の方がたくさん出ている違いは感じました。
- ・委員 小学校では聞く、話すという部分が中心になりますので、結構アクティビティが多かったりする。しかし中学校では、スペリングとか色んなこと、読むこと、特に書くことが入ってくる。子どもたちがなかなか小学校から中学校の英語に入っていけないというようなどころがあるということを知ったことがあるが、それについての対応や工夫はあったか。
- ・代表調査員 書き方のところにいくつか工夫が見られました。書き始めのところに赤印があったり、文字と文字の間にスペースを空ける工夫がされているとか、指追いできるようになっているといった辺りが、それぞれ教科書会社で工夫されていました。
- ・委員 実際の日常会話に近い場面設定の必然性ってよく言われるのですが、ユニットの出てくる題材や扱い方で何か話題になったか。
- ・代表調査員 どの会社もテーマに沿って進められているので、大きく外れているところはありませんでしたが、光村は学年ごとにテーマが発生しているという会話にはなりました。5年生は自分のこと、身近な人で地域が繋がるような流れになっていて、6年生は、日本や世界に目を向けていくというような流れになっています。

【道徳】

① 代表調査員の報告

- ・調査員 5名 調査研究 3回実施
- ・報告内容 小学校教科用図書調査研究報告書(P 20～21)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 道徳はこの頃のいじめの問題だったり、特に協調性だったりということが求められるような内容、こうじゃなきゃいけないという結論が出せない教科書ですが、現行の東書から考えて、新しい視点で出しておられるような会社や、教えるにあたって学びに新しく繋がりやすいといったものはあったか。
- ・代表調査員 光文については、振り返りで終わらずに、次に広がっていくという視点が書かれているという意味では、経験の少ない若い教職員にとっても、指導しやすい教科書だなということで、指導課程も分かりやすいというふうに感じております。
- ・委員 議論するという意味合いでいうと、イラストとか色んなことが、かなり価値項目に流動的であったり、議論しやすさとか色々あると思うのですが、葛藤とかジレンマとか様々議論していく中で、よく工夫されていると思われる教科書を挙げていただくとしたらどこか。
- ・代表調査員 考え議論する道徳という部分で、高学年に向けて考えるのであれば、本当は指導者が考えてやっていかないといけないですが、スキルがまだ身に付いていない若手の先生でも、これからの生活にどう生かしていくとか、広げていくという部分でいえば、光文は指導しやすいと思います。道徳の教科書を見ていると、この地域には馴染みがない満員電車とか、駅を使うとか、バスに乗るとか。あまりそういったことを経験している子どもたちが少ない中でも、考えさせていかないといけないことがあります。若手の先生からベテランの先生まで、全ての子どもたちにその題材を通して経験させていくということでいけば、指導過程が明確な方が、学習が進められるのではないかと考えております。
- ・委員 価値観が多様化する中で、議論させていくにはどちらが良いのか。
- ・代表調査員 価値項目について学習をする時に、捉え方によって違う価値項目に流れてしまうことがあるので、そこは明確にして指導していかないといけないと思うのですが、授

業の手法については色々なやり方があるので、何について今日は学習をしていくか明確な方が、外れずにそこに向かって学習していけるのではないかなとは話していました。

- ・委員 日文が、教科書のテーマ「生きる力」という部分で1年生から6年生まで教科書づくりをしています、教科書の作り方で何か感じたことはあるか。
- ・代表調査員 どの会社についても万遍なく、価値項目については捉えられていますが、日文については、スポーツ選手や芸術家など、幅広いテーマについて扱われていて、関心を引き出す工夫がされているのが印象的だなと感じました。
- ・委員 ロールプレイに関する活動的な学習活動が組み込まれている教科書と、中心発問も含めて、しっかり流れが作ってある教科書についてお聞きしたい。
- ・代表調査員 ロールプレイにつきましては、特に日文と光文に特徴が出ていました。中心発問といったことについても、どこの会社についても分かりやすいです。この価値項目に迫るための中心発問というのは、光文が今後繋がるつくりになっていたかなと思います。
- ・委員 特別の教科道徳は力量が非常に求められるので、先生方の指導力というところや、丹後の実態を踏まえると、ある程度丁寧な学習の流れや振り返りだけではなくて、議論をするようなところまで設定した教科書の方が、今の実態、先生方の実態に合っているということか。
- ・代表調査員 指導者によって差が出てしまう部分も、多々見られることでありますが、どの子にも同じように考えさせる機会や、しっかり学ばせたいということや、振り返って終わりではなくて、次に繋がる過程がきちっと示されている方が、子どもたちにとっても良いのかなと感じました。

【委員打ち合わせ】

- ・会長 次回の協議会は8月2日の9時から同会場で、各教科の採択についてご協議をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

第4回 丹後教科用図書採択地区協議会 議事概要

令和5年8月2日(水) 9:00~10:00
京都府宮津総合庁舎別棟 2階 講堂

- 1 開会(地区協議会会長あいさつ 松本教育長)
- 2 令和6年度丹後地区使用小学校教科用図書にかかる選定協議

【選定方法について】

会長：選定方法については、挙手による合意とし、複数にわかれた場合は、2社に絞ってから選定する。

【小学校 国語】

会長：はじめに国語から協議をお願いします。

会長：特に意見がなければ、光村でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成多数]

【小学校 書写】

会長：次に書写について協議をお願いします。

会長：特に意見がなければ、光村でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成多数]

【小学校 社会】

会長：次に社会について協議をお願いします。

委員：人権問題や領土の関係などセンシティブな部分についても配慮等がされており、東書がよいと考える。

会長：他に意見がなければ、東書でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成全員]

【小学校 地図】

会長：次に地図について協議をお願いします。

委員：修学旅行や校外活動でも活用しやすい地図となっており、帝国がよいと考える。

会長：他に意見がなければ、帝国でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成全員]

【小学校 算数】

会長：次に算数について協議をお願いします。

委員：分数が先にきているということで、他のところは小数点からなので啓林館がよいと考える。

委員：算数の見方や考え方に連なるような課題設定になっており、またマルチリンガルの教科書が対応されていたので啓林館がよいと考える。

会長：他に意見がなければ、啓林館でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成多数]

【小学校 理科】

会 長：次に理科について協議をお願いします。

委 員：実験ごとに器具の使い方が示されており、安全面を考えると啓林館がよいと考える。

委 員：3年生・4年生の理科に入ってからこのところで、気づきや発見など子どもの疑問が出そうなところから迫っており、生活科との関連のある啓林館がよいと考える。

会 長：他に意見がなければ、啓林館でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成全員]

【小学校 生活】

会 長：次に生活について協議をお願いします。

委 員：スタートカリキュラムを大切にされており、保幼から小学校へのスムーズな移行に繋がっている。教員や保護者向けにも、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の力が分かりやすく示されており啓林館がよいと考える。

委 員：びっくりずかん LIVE では教科書自体が図鑑となっており、わくわくする興味をそそる作りとなっているので啓林館がよいと考える。

委 員：ひろがるきもちのコーナーが面白い。生活科から社会科、理科へと発展していく際のひろがるきもちや子ども発想を、明確に「ひろがるきもち」としているので啓林館がよいと考える。

会 長：他に意見がなければ、啓林館でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成全員]

【小学校 音楽】

会 長：次に音楽について協議をお願いします。

委 員：4年生の教材に舞鶴出身の田中彩子さん、6年生に杉本梨衣さんの作曲した愛鈴など丹後に関わる作品が入っており教芸がよいと考える。

会 長：他に意見がなければ、教芸でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成全員]

【小学校 図画工作】

会 長：次に図画工作について協議をお願いします。

委 員：教科書の子どもの表情がとても良い中で、作ってみたいみたいやってみみたいという思いを持ちやすい開隆堂がよいと考える。

委 員：ワークシートや図画工作ノートなど自分で書いていけるページがたくさんあるので日本文がよいと考える。

会 長：他に意見がなければ、開隆堂でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成多数]

【小学校 家庭】

会 長：次に家庭について協議をお願いします。

委 員：題材が色分けされていて何を学ぶのか分かりやすい。また、手順が見開きで左から一方方向に示しており、見やすい工夫がされているので開隆堂がよいと考える。伝統の料理などについても、多く掲載されていたのでよいと考える。

会 長：他に意見がなければ、開隆堂でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成全員]

【小学校 保健体育】

会 長：次に保健体育について協議をお願いする。

委 員：若い先生も指導しやすい大日本図書がよいと考える。

委 員：授業と生活を関連づけながら、児童が主体的に学べるような構成になっている教科書であり、東書がよいと考える。

会 長：他に意見がなければ、東書でよいと思う方は挙手をお願いする。

[挙手：賛成多数]

【小学校 外国語】

会 長：次に外国語について協議をお願いする。

委 員：交渉の情報量の多さやデジタルコンテンツの豊富さ、中学校英語への接続がスムーズであり東書がよいと考える。

委 員：「聞く」「読む」「書く」のバランスが取れている。自分の考えを書いたり、アルファベットを書くなど中学校英語へ繋がっていて、東書がよいと考える。

委 員：書き込みのスペースが大きくとられている。右利きも左利きの人も書きやすいお手本が示されており、ユニバーサルデザインも充実しているので東書がよいと考える。

会 長：他に意見がなければ、東書でよいと思う方は挙手をお願いする。

[挙手：賛成多数]

【小学校 道徳】

会 長：次に道徳について協議をお願いする。

委 員：光文は1時間の授業の目的や流れということで、一つ一つの授業がしやすいつくりになっているのではないかなと感じたが、同じ題材を扱ったものを比較したところ、東書の方が話の持って行き方や出てくるキャラクターの言っていることが、一年生に対して考えるとわかりやすい作りで作られていてよいと考える。

委 員：題材として出てくる子どものころを育てるといふ部分で見ると、ころを打たれるような内容が多く取り扱われていて東書がよいと考える。日文も文化作品やスポーツ選手が出てきたり、色んなことがある中で子どもがどんな気持ちを育てていくかという部分で東書と日文がよいと考えるが、特に東書がよいと考える。

委 員：内容としては東書が入りやすいが、質問というところでは、光文が先生にも分かりやすいし子どもにも何を考えたらよいのかが分かりやすい。教えやすさでいうと光文がよいと考える。

委 員：考える道徳ということに関しては、東書がよいと考える。

委 員：多様な考えや感じ方があったり、子どもたちの心に葛藤があったり、自分だったらどうするんだろうということを考えていくとなると、段階的に道筋を示してない東書がよいと考える。

委 員：絵で子どもたちがその行動を見ながら、自由な発想で色々な場面の意見を言ったりしやすいので、一年生のことを考えると東書の方がよいと考える。また、全体的な内容等についても、5つのユニットや3つのユニットの部分で、今子どもたちに考えさせたり気づかせたりしないといけないことが設定されていて、東書がよいと考える。

会 長：他に意見がなければ、東書でよいと思う方は挙手をお願いする。

[挙手：賛成多数]

会 長：以上で選定協議がすべて終了した。

改めて、選定結果を報告する。

●選定結果

【小学校】

国語・・・光村
書写・・・光村
社会・・・東書
地図・・・帝国
算数・・・啓林館
理科・・・啓林館
生活・・・啓林館
音楽・・・教芸
図画工作・・・開隆堂
家庭・・・開隆堂
体育・・・東書
外国語・・・東書
道徳・・・東書

事務局：選定結果及び選定理由は、後日、事務局から各市町（組合）教育委員会へ送付させていただく。
それらを踏まえ、各市町（組合）教育委員会で採択をお願いする。

3 閉 会